



私の3冊

田中友紀

後輩に薦める 2 冊

香山明美, 小林正義, 鶴見隆彦 (編著)

生活を支援する精神障害作業療法, 第2版—急性期から地域実践まで
医歯薬出版, 2014 年発行

精神科領域で働く作業療法士がやるべきこと, 大切にすべきこと, 知っておくべきこと, をしっかり学べます。表題通り, 入院初期の急性期の作業療法から退院支援, 退院後の地域生活支援, 家族支援, 就労支援まで, その時期における状態像, 評価の視点, 必要な介入のポイントが一連の流れで具体的に示されています。2007 年の第1版の時代からいつも私の教科書です。

早坂友成 (編)

精神科作業療法の理論と技術 メジカルビュー社, 2018 年発行

こちらにも精神科作業療法の実際を広くかつ詳しく学べます。さまざまな現場の実践者達がそれぞれの専門分野について経験に基づいて書いた実践書であり, 統合失調症モデルだけでなく, うつ病, 双極性障害, 神経症, 摂食障害, 早期精神疾患など, 各種精神疾患ごとに評価法・治療法・事例に分けて解説しています。出版されたばかりの本で, 認知リハビリテーションやリワークプログラムなど, 最新のリアルな動向を知ることができます。

自分の 1 冊

デイビッド・ロバーツ, デイビッド・ペン, デニス・コームズ (著), 中込和幸, 兼子幸一, 最上多美子 (監訳)

社会認知ならびに対人関係のトレーニング (SCIT: Social Cognition and Interaction Training) 治療マニュアル

星和書店, 2011 年発行

SCIT は対人関係に大きく影響を及ぼす社会認知機能の中の感情認知, 原因帰属様式, 結論への飛躍, 心の理論, といった複数の領域を治療対象とする心理社会的アプローチであり, このテキストには SCIT の理論と実践方法がわかりやすく書かれています。SCIT を当デイケアのプログラムに取り入れて 4 年以上が経ちますが, 今でも毎週のセッション前に必ずこのテキストで内容を確認してから臨んでいます。

■ たなか・ゆき 作業療法士 11 年目 東邦大学医学部精神神経医学講座, 東邦大学医療センター大森病院『イルボスコ』

思春期・青年期前期の若年層を対象としたユースデイケアで就労・就学に向けたリハビリテーションを行っています。精神疾患の発症早期や発症危険状態 (ARMS) への早期介入が重要視されるなか, 国内外の新しい情報を求め日々模索しています。これまで民間病院のスーパー救急病棟などで入院患者を対象とした精神科作業療法も行ってきました。